

※カメラボタンを3秒長押し



SENA Camera

アプリでカメラの設定もラクラク!

スマホアプリ「Sena Camera」を使えば、スマートフォンの画面上で50Cが操作できる。撮影中の映像をモニターできるほか、撮影した動画や写真をスマホにダウンロード可能。スマホを介して撮った映像をその場でネットにアップするのに便利

シーンだけを抜き出すのは意外と大変。かといって、いい景色に出会った時に録画を始めていたのでは、肝心の瞬間を取り逃してしまう。そこでオススメなのが50Cの「ビデオタギング」機能だ。

これは50Cをドライブレコーダーとして使うための「ループモード」で利用可能。ループモードで撮影中に、ビデオタギングのボタンを押下すると、その瞬間が含まれる3分間と、さらに前後3分間ずつ、合計9分間が3つのファイルとして記録できる。

走行中に、思いがけず残したい景色に出会った時に、カメラボタンを3秒長押しすれば、効率よくいいシーンだけを記録していくことが可能。もう、メモリーカードの残りを気にしたり、編集でざんざん撮った動画を見返すのに四苦八苦することもない。50Cを使えば、カメラアングルは自分自身の視線そのもの。周囲の気になった街並みや景色、すれ違うバイクなどを、メモ代わりにどんどん記録していこう!

BikeJIN的 SENA楽しみ方ガイド

50Cは「ビデオタギング」で遊ぼう!!

動画を始めたいあなたにオススメする理由

- インカム+アクションカム+スピーカー&マイクが合わさったオールインワンアイテムでコスパ◎!
- 取り付け位置が決まっているからカメラ位置で困らない
- 編集いらず! 撮影時に声もBGMも入れられる
- 「ビデオタギング」で撮り漏らしナシ!

セナ・インターコムプレミアムモデル「クアンタム」シリーズの一台「50C」インターコムとアクションカムがひとつになった、独創的なインターコムだ。この50Cの「ビデオ・タギング」機能を使えば、印象的なシーンを取り逃さないぞ!

文/八百山ゆーすけ 問:セナブルー투스ジャパン <https://senablueetooth.jp>



50C

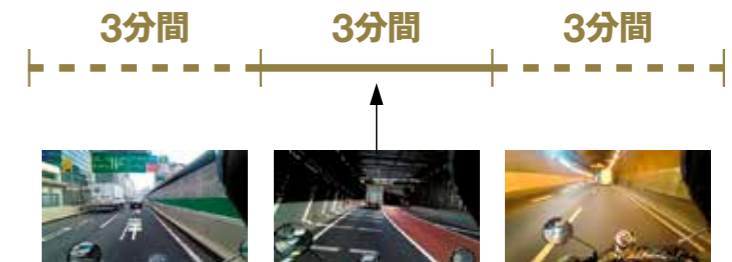
価格: 7万5240円
 サイズ(メインモジュール): 95×59×31(mm)
 通話距離: Meshインターコム 2.0km

インカムは他のクアンタムシリーズ同様、セナ・メッシュ 2.0システム+ハーマン・カードのサウンドを搭載。カメラは最高4K/30fpsでの動画撮影可能だ



「ビデオタギング」とは?

「タギング (印を付ける)」の文字通り、任意のタイミングでボタンを押すと、その瞬間を含む前後3分間と、さらにその前後3分間ずつを、3つのファイルで記録してくれる。ドライブレコーダーでアクシデントの瞬間を記録するイベント録画機能の拡大版だ



気になった風景だけを効率よく記録できる

「50C」はインターコムとアクションカムが合体した唯一無二のモデル。インターコム機能は、メッシュ・システムによる人数無制限かつ高品質なグループ通話ができる。カメラ機能も最高4K画質の動画が撮影できるなど、最高峰のクアンタムシリーズに相応しいカメラ一体型インターコムだ。

実はインターコムとカメラ一体というのはメリットが多い。自分の声にインターコム通話の相手の声、さらにナビ音声や音楽、ラジオの音声と同時に録音できる。アクションカムと同じことをしようとしても、マイクを付ける必要があるほか、こうした外部の音を取るには技術的になかなか難しい。

なにより、インカムとしてヘルメットに50Cを取り付けさえすれば、別にカメラの取り付けに頭を悩ませる必要がなく見た目がスマート。50Cはマウント部が可動式となっており、ベストなカメラアングルを決めることができる。

最近では走行中に動画を撮影し、それを編集してユーチューブやSNSにアップする人が多い。そのために、走行中ずっとカメラを回している人も多いことだろう。しかし、後でその中から、映える